～大人いきいき　子どもすくすく～

コミスク

令和７年６月２０日（金）

第６号

小美玉市教育委員会生涯学習課

技能教科（家庭科・図画工作科・体育科など）を中心に、保護者や地域の方による学習支援がどんどん広がっています。

みなさんのおかげで、子どもたちの「わかる」・「できる」が増えています。さらに、授業で学んだことを生活にいかそうとしています。

大人いきいき　子どもすくすく

図画工作・美術科

たくさんほめてもらえて、うれしかったよ。

家庭科

子どもたちが、お互い教え合うようになったよ。

体育科

たくさんの技ができるようになったよ。

大人同士のつながりへ

授業後、参加した保護者や地域の方同士で子どもたちの関わり方などについて振り返ったよ。

わかりやすく支援する方法について、みんなで話し合ったよ。話もすごく弾んだよ。

先生とも交流

小美玉クイズ

問　令和７年６月８日に「やすらぎ里まつり」が開催されました。
「やすらぎの里小川」は令和７年で開館何周年を迎えますか？

Ａ　１０周年　　Ｂ　２０周年　　Ｃ　３０周年

答えは、「小美玉市のコミュニティ・スクール」のホームページにあるよ。

裏面につづく

令和6年度　小美玉市 コミュニティ・スクール 地域学校協働活動

地域×学校 ちょっと

令和７年２月２６日（水）小美玉市文化センターアピオスにて、コミュニティ・スクール・地域学校協働活動の推進フォーラムが開催されました。各学校の学校運営協議会委員・保護者・地域の方などに加えて、１２市町村の担当者の方も参加いただきました。

代 表 講 話

堅倉小

令和４年度から年に１回、９月の休日を登校日にして、防災フェスティバルを実施しています。児童・保護者・地域の方とともに防災体験できるようにしています。

救急体験

担架体験

防災学習

堅倉小コーディネーター
磯辺　寛さん 郡司　恵美子さん

事例発表（３校）

美野里中

中学３年生の家庭科「トートバック作り」では、20 回以上学習支援を行いました。放課後も支援を行い、ほぼ全員の生徒が作品を完成させました。

戦争体験語り

放課後、家庭科支援

美術科支援

美野里中コーディネーター
野手 利江さん　皆川 早苗さん

納場小

納場っ子まつりでは、地域の方のおかげで児童は様々な体験（ギター・貝殻アート・太鼓等）をすることができました。当日１００名以上の方に支援いただきました。

図工支援

走り方教室

納場っ子まつり

納場小コーディネーター
磯部 公一さん　荒川 英一さん

小川南小・中

小川南小１・２年生の体力テストでは、体育館で実施する種目の支援を行いました。保護者・地域の方と２０名くらい集まり、児童の記録も向上しました。

調理実習支援

体力テスト支援

読み聞かせ

小川南小・中コーディネーター
藤田 恵弘さん　田村 智子さん

いい関係 推進フォーラム

シンポジウム

竹原小	羽鳥小	玉里学園	小川北	玉里駐在所	食生活改善推進協議会
コーディネーター	学校運営協議会 副会長	コーディネーター	コーディネーター	巡査部長	会長
稲田　弘さん	太田　清さん	小玉 知子さん	山本 洋平さん	大賀　泰人さん	大曽根 光江さん

校長の立場からすれば、「地域とともにある学校」は絶対条件です。個人的には、「学校は地域のもの」であると思っています。子どもも先生も何年かで巣立っていきますが、学校そのものはずっと残ります。地域の方に育ててもらうことで、その存在が光り輝くものになってきます。
来年度もこのフォーラムを継続してください。
小美玉市が県内ばかりでなく、全国に発信できる形になってきました。現場としてもありがたい限りです。

校長先生にインタビュー

小川南小
佐藤校長先生

美野里中
高木校長先生

～推進フォーラムに参加した方の感想～

（市内の方）

・コミュニティ・スクールのねらいである「地域と共にある学校」づくりの様々な取組が、今回のフォーラムへの参加を通して実感することができた。学校規模、校種、目指す児童生徒像は、それぞれ異なるが、共通する点は、学習支援ボランティアの方々が支援ではなく「活躍」しているところだと感じる。学校、地域の双方にとってプラスの作用が働く「コミュニティ・スクール」を目指していきたい。

・私自身も家庭科の授業のお手伝いさせていただきましたが、各学校、たくさんの方の支援があることを知りました。小美玉市ならではの自慢だと思いました。もっと地域の方に支援を頂いて横のつながりを深めていければ、地域の活性化にもなるのではないでしょうか。

・今日参加できて良かったです。各コミュニティの内容、心打たれました。この活動が続くよう、続けられるよう応援していますし、少しでも参加できればと考えています。つながりは大切。まずは挨拶‼　私が育った時も母から挨拶の大切さを教えられました。子どもから大人、老人を含み、話をする事、コミュニケーションをとることが大事、行動を起こすことが大事、私も地域に協力していきたいと思います。

（市外の方）

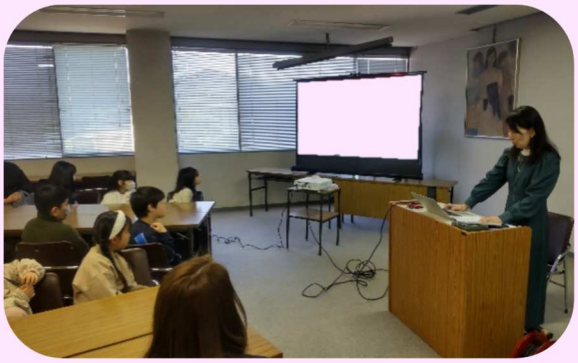
・各学校のコミュニティの皆様の様々な取組の発表ありがとうございました。それぞれに独自で活発な発表とても参考になりました。各市町村でもコミュニティ・スクールに取り組んでいますが、苦戦しているところが多いようです。そのような中で小美玉市では熱心な様子を知ることができました。是非他市町村への発信を多くして下さい。

・本日は素晴らしいフォーラムをありがとうございました。とにかく「感動」の連続！でした。すべての学校がコーディネーターさんを中心に地域学校協働活動が活発にまさに「大人いきいき」で実施されていること。これはコミュニティ・スクールの真の狙いが全ての学校に浸透されており、また、学校の取組が効果的に情報発信されていることで、相乗効果が出ておられる結果ではないかと感じました。

おみたんスクール

プロの朗読家から学ぶ

朗読家である見澤淑恵先生から、声の出し方や話し方の極意を教わりました。小学生に加えて、高校生・読み聞かせ団体「夢ぽけっと」さんも一緒に学びました。なんと美野里中高木校長先生も参加いただきました。



すくすく育ていばらきっ子家庭教育応援ナビ

あなたの声で読み聴かせ
～絵本がひらく未来への扉～　　見澤　淑恵先生

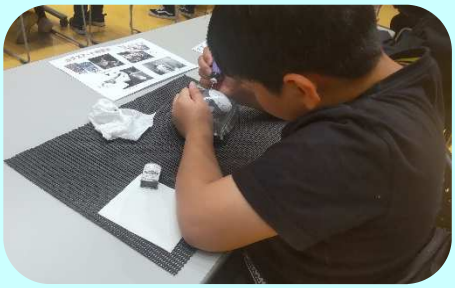
動画（前半）　　動画（後半）

子どもたちの感想

・学校で係活動をやっていて、私は「お話係」で読み聞かせをしているので、とても勉強になったと思います。
・学校ではあまり声は出ないけど、今習った事を大切な楽器として声を出します。
・学校で声を出すのが少ないから、もっと声を出したいと思いました。

ガラスアート体験から学ぶ

地元企業である「アートフィールド」の池田先生から、ガラスアート体験を学びました。グラスコップにミニルーターを使い、自分で考えたイラストや文字を彫刻しました。世界に一つだけのコップです。



～完成作品～

子どもたちの感想

・ガラスアート体験を他の行事でやった事があるのですが、その時とっても楽しかったのでまたやりたいなと思っていました。なので、おみたんスクールでガラスアートを作ることができてとってもうれしかったです。また機会があれば、ガラスアートをしたいです。本当にありがとうございました。

【お問合せ先】小美玉市教育委員会生涯学習課
担当　三澤・髙野・植田
TEL 0299-48-1111（内線 2264）

令和７年度は、さらにパワーアップした企画を考えています。